

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第41回河内長野市地域公共交通会議
2 開催日時	平成31年1月28日(月)午後3時から
3 開催場所	河内長野市役所602会議室
4 会議の概要	(1) 企画乗車券PRチラシについて (2) モックルコミュニティバス新車導入後の経過について (3) 平成30年度生活交通確保維持改善計画(フィーダー)に関する事業評価について (4) 高齢者公共交通利用促進事業について (5) 南花台自動運転について (6) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	0名
7 問い合わせ先	(担当課名) 都市づくり部 都市創生課 交通政策係 (内線540、541)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第41回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第41回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成31年1月28日（月） 午後3時～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 （非公開とした 場合はその理由）	公開
傍聴者	0人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 企画乗車券PRチラシについて (2) モックルコミュニティバス新車導入後の経過について (3) 平成30年度生活交通確保維持改善計画（フィーダー）に関する事業評価について (4) 高齢者公共交通利用促進事業について (5) 南花台自動運転について (6) その他
会議内容	別紙会議内容のとおり

第41回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 第41回河内長野市地域公共交通会議開会の案内 ➤ 新委員の紹介 ➤ 各委員の出欠状況の報告
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【議題1】企画乗車券PRチラシについて</div>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料1について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 私も元旦にモックルカードを購入し、日野・滝畑地域に行く際に使った。カードを機械に入れると、「1day」と記入される。日野・滝畑地域まで560円かかるが、このカードの発売価格は600円なのでかなりお得だった。モデルルートが記載されているともっと良くなると思うので、是非試して欲しい。
小谷委員 (近鉄タクシー)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 近鉄タクシーの配車連絡先が変更になる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料の反映は間に合わなかったが、先週、近鉄タクシーから連絡を頂いている。
	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 0 auto;">【議題2】モックルコミュニティバス新車導入後の経過について</div>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料2について説明。 （各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）
仲村委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 利用者の声のところ、②の「ダイヤの改善について」でこんなことがあったと報告があるが、改善策はあるのか？何もなくて、ただこういう意見があったということで終わりなのか？
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➤ ダイヤの改善などのマイナスのご意見も頂いているが、実績を見ても、7、8月の南行きの利用者数も伸びている。都度乗り込み調査を行い、今後の様子を見ながら運行していきたい。
仲村委員 (市民公募)	<ul style="list-style-type: none"> ➤ そういうことも明確にしていけないといけないと思う。アンケートをとって終わりという感覚なのか？今後も改善をしていかないと、やる気があるのかなと思ってしまう。今の説明だとやる気を感じるが、最初の説明だと、投げやりな説明。それで終わりですという風を感じる。もっと前向きな説明が欲しい。説明の時間があるのだから、しっかり説明して欲しい。
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗り込み調査も必要だと思っている。実際に乗っている人の意見も聞いて、次に対応できるように課題意識をもって対応していきたい。

<p>日野副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 他市でも言っているが、課題があると今後も検証して下さいねと言っている。どちらも良くなるということは難しいと思う。だから片側が良くなると、もう一方について説明をしていくことが大切だと思う。アンケートをしたら、結果を公開することも必要である。 ➤ 小学生のアナウンスも継続して欲しいとの意見もあったが、この後どうするのか教えて欲しい。 ➤ モックルコミュニティバスの上限 200 円運賃を継続しており、どこかで区切りをつけて、総括することが必要。この後どうするかを決めないといけない。今回は利用者数が増えたが、減ったらどうするのかという問題がある。どこかの時点で料金を見直すことも必要だと思う。その際に材料になるのが、資料の裏面。運休が出たりするので、便別にして集計して欲しい。 ➤ 先程、台風の運休についての話があったが、台風の際はバスがどうなっているか不安に思う。鉄道はニュースで報道されているが、バスはどうなっているかわからない。現状がどうなっているのか教えて欲しい。
<p>岩佐委員 (南海バス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 台風が来た際の計画運休については 30 年間営業していて、今回が初めての計画運休だった。計画運休のお知らせはHPのトップに掲載するとともに、バス停にも掲載した。初めての計画運休だったので、色んなご意見を頂いて、PDCAを回しているところ。
<p>日野副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 鉄道が動かない時は、バスが代替輸送し、重要な移動手段となった。阪神・淡路大震災の時もバスによる代替輸送が行われた。バスが災害時に大切になってくる。バスが災害時にそういう手段にもなるので、鉄道との連携をもっとアピールすることが大切だと思う。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ アナウンスについて、大変好評だったので来年度も実施予定。 ➤ 日割りで算出することについて、台風を考慮して試算すると昨年度よりも若干プラスの状況となった。今後は日割りで見せていくことも考えたい。 ➤ 上限 200 円運賃については、乗り込みすると助かるという意見もあったり、自分は何円でも乗るよという意見もあった。運賃が安かったのが高くなると、利用者離れなども起こってくると思う。維持継続性も考えて、どのような影響があるかを考え、来年度以降も検討していきたいと考えている。
<p>日野副会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ やって行って、どうなったか検証していくことが大切。一番影響のないような形で考えて行って欲しい。
<p>【議題3】平成30年度生活交通確保維持改善計画（フィーダー）に関する事業評価について</p>	
<p>事務局 上野委員 (観光協会)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料3について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり) ➤ この資料だと河内長野ヒストリップの内容がわからないので、配布をしてみ

	てはどうか？
榎井会長	➤ 用意させていただきます。
日野副会長	➤ 日常生活の利用者だけでは需要は伸びないので、観光の需要などを上乗せして、トータルで利用者数を維持または増加させていくことが大事。そういう意味では今の企画は良いと思う。残念なのは、鉄道がベースであるべき。市の中だけで取組んでも、新たな需要の喚起は難しいし、中々話が進まない。公共交通で気軽に観光しましょうと言う話のときに、今の議題のほとんどがバスだけになっている。公共交通は鉄道が柱になっていて、バスがネットワークを形成している。鉄道事業者から情報提供や提案が欲しい。鉄道の利用者数は減っているが、いずれ万博やオリンピックがあり、インバウンドが増えてきている。関西の鉄道は事業化の話がたくさんあり、賑やかになっている。今は全体の公共交通を見直すチャンスだと思うので、鉄道事業者さんからお話しがあれば是非お願いしたい。
中野委員 (南海電鉄)	➤ 和歌山市さんはICも完全に入っておりハードルも下がっているが、ICを導入されていない事業者さんもある。他の市町村でも考えてはいるところもあるが、課題が山積し、なかなか連携が難しいと聞いている。
上野委員 (観光協会)	➤ ヒストリップの目的は市外の方々に読んで頂いて、河内長野を観光してもらうこと。
日野副会長	➤ そのために、鉄道の駅に置いてもらうことも大切だと思う。市民に市内を探検してもらうことも大切だが、鉄道事業者の協力が必須だと思う。JRさんもPiTaPaのポイント制を導入している。今がちょうどチャンスだと思う。両社で近畿運輸局の協力も頂いて、改善してもらいたい。
仲村委員 (市民公募)	➤ 前回の会議の中で、大阪運輸支局の木原専門官（後藤委員の代理出席）から話のあった和泉市との連携は進んでいるのか？
事務局	➤ 今日の議題は、血管で言うと毛細血管の部分。太い幹の地域間幹線のバス路線も補助対象路線になっている。和泉市とまたがっているので、この前和泉市の担当者とも会って、金剛寺や施福寺などの観光スポットのPRをしたり、お互いに発信して連携をしていこうという話はしている。
仲村委員 (市民公募)	➤ 幹線がダメになるとフィーダーもダメになる。ここの部分を放っておいて良いのかという話になる。
後藤委員 (大阪運輸支局)	➤ 地域間幹線系統に接続する路線がフィーダー系統の対象になる。現状は、大阪府が平成30年9月に地域間幹線の生活改善維持改善計画を出しており、国の方から要件を厳しく求めている。具体的には収支率を1%上げるように

<p>太口委員 (産業経済部)</p>	<p>言っている。事務局の方から話があったが、他市との連携による改善策を取組んで頂くとともに、フィーダーで利用者を運んで頂くことも大切だと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ ヒストリップの新版を配っている。新版では食べ物屋さんや土産物屋さんを重視した内容になっている。内容は観光や交通の案内をしている。なかなか市外で配る機会がないが、市外のイベントを見つけてはお配りをしている。観光客に来て頂けるようにして行きたい。
<p>榊井会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 私も南海電鉄情報誌のNATTS（ナッツ）を駅で見つけては電車の中で読んでいる。綺麗なお店が載っていたり、行ったことがある店でもこれを読んでもう一度行きたいなんて思うことがある。 ➤ 審議の結果、承認を得る。
<p>事務局</p>	<p>【議題4】高齢者公共交通利用促進事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 資料4について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)
<p>榊井会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 事務局より報告がありました「高齢者公共交通利用促進事業」は、昨年度策定の「河内長野市地域公共交通計画」の中の「高齢者が利用しやすい公共交通環境の整備による外出の支援」に関連する事業として、今年度から3年間の社会実験として実施している。公共交通の利用促進を図り、高齢者の外出を支援することで、健康増進などの効果を期待し実施している。対象者と直接「おでかけチケット」のやり取りをされているタクシー事業者の皆様の方で、何かご意見や現場の感想等があればお伺いしたい。近鉄タクシーの小谷委員いかがでしょうか？
<p>小谷委員 (近鉄タクシー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 乗務員に確認したところ、駅から自宅や自宅から駅が多いようだ。最初の頃はお問い合わせが多かったみたいだが、最近はお問い合わせもなく浸透してきたのかなと思っている。他市と比べて助成額が少額なことを仰る方もいれば、200円でも助成してもらえると有難いと仰っている方もいるようだ。
<p>榊井会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 来年度からは事業の拡大を図る予定であり、事務局から説明をお願いしたい。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 来年度からはコミュニティバスを含めてバスでも利用できるようにしていきたいと考えている。高齢者の方から、まちなかクーポンが使える店が少ないとのお声を頂いていたので、お店を拡充し、来年度は今年度の協賛店舗の2倍となる予定。アンケート案については、社会実験として実施しているので、利用者のお声を吸い上げていきたいと考えている。
<p>仲村委員 (市民公募)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 路線バスは4月から使用できるということによろしいか？

事務局	➤ 利用方法について、直接運賃精算は技術的に難しい。方法は検討中である。
山田会長 (老人クラブ)	➤ 今使えるチケットは、あと3ヶ月で使えなくなる。来年度から使える新しいチケットとの仕分けができるように分かりやすくして欲しい。
事務局	➤ 利用される方も75歳以上なので、チケットの色は今年度とは全く違う色を使おうと思っている。老人クラブ連合会の理事会など、PRにご協力頂いた。今後とも、PRをしていきたいと思っている。
日野副会長	➤ 便利になるのは良いことである。ただ、バスにいきなり広げることは心配。75歳以上であることの本人確認が必要になる。タクシーはゆっくり乗ったり降りたりできるが、バスで確認行為はできるのか？使用する際は1回に2枚で乗れるのか？
事務局	➤ バスで使用する際、チケットをそのまま運賃箱に入れるのは難しいと考えている。だから、南海バス専用ICカード「なっち」やモックルカードの購入が出来るようにしたいと考えている。なっちは3,000円で発売されており、今回お配りするおでかけチケットは1,000円相当なので、購入の際には2,000円を現金で支払ってもらうことになる。モックルカードは200円分がおでかけチケットで、残りの400円を現金で支払ってもらうことになる。やはり、全額無料は考えておらず、公共交通は一部必ず本人に負担してもらうことが大切と考えている。
日野副会長	➤ どれにどれだけ使ったのかということデータを取っておいて欲しい。バスとタクシーが使えるようになって相乗効果で利用者数が伸びれば良いが、母数が一緒に利用者が全部バスに流れると困る。そのデータを見て、社会実験終了後にどうするか決められるようにして頂きたい。
仲村委員 (市民公募)	➤ 75歳以下の方が乗った場合はどうするのか？
事務局	➤ おでかけチケットの制度の目的は、高齢者の方に外に出てもらい、まちを活性化してもらうこと。毎回タクシーやバスに乗る際に、本人確認をすることは難しいと考えている。ある程度は性善説に立って考えていくべきだと思っている。ただ、今年度事業実施の中でタクシー会社には、明らかに75歳以下の方が乗ってきたら確認して欲しいと言っている。お電話でおでかけチケットを知人に譲渡して良いかというお問い合わせを頂いた際は、制度趣旨を説明して納得して頂いている。今のところ、大きなトラブルはないと考えている。
榊井会長	➤ 堺市では本人確認のためカードを発行しているみたいだが、準備のための予

	<p>算が膨大となってしまう。ある程度、性善説に立たないといけないと思っている。</p>
事務局	<p>【議題5】南花台自動運転について</p> <p>➤ 資料5について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</p>
榊井会長	<p>➤ 協議会には日野先生がご参加されているので、先生からご意見をお願いします。</p>
日野副会長	<p>➤ 少し厳しいことを申し上げると、自動運転の協議会や打ち合わせですっと申し上げているが、河内長野市の3つの目的の2つは短期的なものである。例えば、公共交通なら乗り合ってもらうために、バス停に行くのが困難だからフリー乗降等をして貰っている。</p> <p>➤ 交通安全の観点なら、車両や運転手を確保することは難しいので、事故を減らしましょうという話になる。公共交通の観点からは車を自動化にしましょうという話になる。南花台の人たちがどうやったら使えるかを話し合うことが大切。すぐに実現するのは難しいので、実験的にこういうことをしましょうと言うことが大切。前回の会議では、地元が何を求めているのか、私にはわからなかった。2ルートあって、先程のアンケートもあったが、こういうことがあるよと言わないと答えられない。</p> <p>➤ システムとしては、レベル3とか4ぐらいを目指そうということなので、無人で運転手さんがいれば、交代するパターンになる。もう1つは、今回しようとしているのが外部遠隔操作の管制システム。運転手を減らすために、1人で複数のコントロールをしないと意味がない。つまり管制の実験も必要。使ってもらうためにはどんな車が必要かを考えるべき。今のシステムならスピードは時速10キロで自転車より遅いが、将来的に時速20や30キロに早くしようと言うのなら理解できる。それなら、どんな課題があるのか考えるべき。</p> <p>➤ 高速道路なら外からの影響が少ない。郊外の幹線道路も制限が少ない。こういう南花台地域なら、人が歩いていたり、庭から木がはみ出しているから、全てに反応して弊害が多い。将来はこんなことをしたいので、当面はどんなシステムで、今後はどんなことをしますという説明を求めている。前はそんな説明がなかった。次回までにニーズと、技術面の課題、課題に対するアプローチを考えておいて下さいねということが全体のまとめだった。次までに答えを頂けると、具体的なアプローチをしやすい。ただ、私は交通会議から参加しているので、公共交通に将来役に立つものを想定して、こんなことをしましょうと発言していきたい。</p> <p>➤ 今のままだと、単にこんなことがあるから見に行きましょうという話になる。健康増進等には関係なく、ただ、こんな物が走りますだと見世物で、最初だけ見て、飽きたら見に行かなくなる。そうじゃなくて、利用と便利に繋がっていないといけない。言葉が悪いが、最初の2つは取ってつけたようなことしか言ってない。使って便利と言わないと意味がない。そこを軌道修正してくれたらと思うし、公共交通ともマッチしていくと思う。</p>

<p>上野会長 (観光協会)</p>	<p>➤ 自動運転について、先週新聞に載っていた。日本は自動運転がしやすいと書いてあった。保安基準の観点から、2020年まではレベル3までに到達すると書いてあった。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ レベル3に到達するのは、簡単でない。高速道路や幹線は簡単だが、一般市街地などの道では、とても難しい。全部が全部、レベル3に到達するのは、難しい。分けて考えていかないといけない。自動車業界は、当初は自動運転はやらないと言ってきた。ドライバーの問題、つまり人的問題を機械に置きかえると、メーカーの責任になるけど、社会的な流れから競争するようになった。フランスでは自動運転を先行して研究していたが、センサーが霧で誤作動を起こしてしまうため断念した。日本も第2の宇宙開発になるのではないと言われてきたが、日本は外圧が少ないからやりやすいと言われている。日本のような小さい道なら、自動運転で全てを確認することは難しい。だから、実現までに時間がかかるので、グループ分けして、何年までにこういうことはこうしようと考えたらいい。河内長野市で目指しているのは難しいと思う。ゆっくり走ってでも良いから高齢者が外出しようとしている時に、利用してくれるもの、要は高齢者の便利になるものの支援を目指したら良いし、やってもらえると河内長野の公共交通にとっても良いと思う。</p>
<p>仲村委員 (市民公募)</p>	<p>➤ 全国で自動運転のテストをしている。他の地域の実証実験はどうなっているのか？</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 協議会で、連携の例はどうなっているか教えてと言ったが、色々あると言われて、当日は教えて貰えなかった。報道等で概略は入ってくるが、知りたいのは、これをするために、どこどこがどう協力して、こんなことをして課題を解決したということが知りたい。河内長野市でこんなことがあれば、こんなことができるよと言った方が分かりやすい。地元の説明でもそれが効果的。ご質問頂いたことを、担当者の方もここに居るので、事前に是非調べてほしい。</p>
<p>仲村委員 (市民公募)</p>	<p>➤ 乗って楽しい、見て楽しいはない。夢みたいな話。見て楽しいなんでさらさらない。もうちょっとわかりやすく説明がないと、他の地域の事例の話もなく、楽しい楽しいではどうにもならない。こういうことはお金がかかるし、予算のない市であるから、もうちょっと精査していくべき。</p> <p>➤ 将来的に見たら自動車は無人にはなると思うけど、2020年までは無理な話だと思う。メーカーの設計の仕事をしている知人も不可能と言ってた。もっと色々なことを知ってやってみないと難しいと思う。</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 同志社大学のセンター長も、すぐできるものではないと言っていた。何をどこまで実験していくのか、考えていくべき。今頭にあるものは既にある。今したいことを、どう落としていくかを考えたら良い。やりたいことを物珍し</p>

<p>榊井会長</p>	<p>さでやっていくのは、将来が見えてこない。将来ここに行きたいからこうしたいという話をするべき。</p> <p>➤ 便利でないと当然ダメ。安全安心が大切。南海バスさんとも話をしていたが、真ん中の背骨であるバス路線がなくなっていくのはダメな話。バス路線とそこに毛細血管のように自動運転が走ることで安心が確保される。</p>
<p>事務局</p>	<p>【議題6】その他案件について</p> <p>➤ 資料6について説明。 (各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)</p>
<p>日野副会長</p>	<p>➤ 天野山線について、和泉市の教育委員会とも話をしても良いのかなと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>➤ 次回は、3月に書面にて開催する予定。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>

第41回河内長野市地域公共交通会議 委員名簿

	氏名	所属・役職	出欠状況
会長	榭井 繁春	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学 名誉教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	欠席
委員	稲沢 文啓	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	欠席
委員	後藤 孝行	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	
委員	植澤 徹也	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	
委員	白井 康之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長	
委員	松本 広明	大阪府 河内長野警察署 交通課長代理	代理：泉谷係長
委員	芥子 孝満	南海バス株式会社 企画部 企画課長	
委員	岩佐 浩二	南海バス株式会社 営業部 営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
監事	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 長野営業所長	欠席
委員	小谷 和也	近鉄タクシー株式会社 業務部長	
委員	中野 崇	南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 統括部 課長	
委員	山本 恒平	近畿日本鉄道株式会社 総合企画本部 計画部 課長	
委員	山田 昭儀	河内長野市老人クラブ連合会 会長	
委員	上野 修二	河内長野市観光協会 会長	
委員	若林 勝美	河内長野市商工会理事	
委員	仲村 義郎	市民公募	
監事	甲斐 由紀	市民公募	欠席
委員	洞淵 元秀	河内長野市保健福祉部長	
委員	太口 智裕	河内長野市環境経済部長	
委員	梅谷 武博	河内長野市都市づくり部長	
委員	小西 昌敏	河内長野市総務部長	
委員	小林 章良	河内長野市総合政策部長	欠席